

当院での先進機器を用いた外来ニューロリハビリテーションを ご希望される皆様へ

ニューロリハビリテーションとは

近年の脳神経科学の発展により、脳卒中などによって脳がダメージを受けても、集中的なリハビリテーションにより脳機能の再編成が生じること(脳の可塑性といいます)が分かっています。このような最新の脳科学の知見に基づいた医学的根拠の高いリハビリテーションのことを「ニューロリハビリテーション」といいます。

当院での取り組み

当院では以下に該当する方を対象に、外来リハビリテーションにて先進機器を用いた積極的なリハビリテーションの機会を提供しています。

<先進機器を用いた外来ニューロリハビリテーションを実施できる方>

- ✓ 脳卒中後(脊髄損傷後)の後遺症として、上肢麻痺が残存している方
 - ✓ 当院に週2回のリハビリテーションに通って来られる方(ご家族等の送迎でも可)
 - ✓ 他の病院で医療保険ないしは介護保険を使ったリハビリテーションを行っていない方
- *初診を受けた後に、リハビリテーションを受けることが難しいと判断される可能性があることもご了承ください。

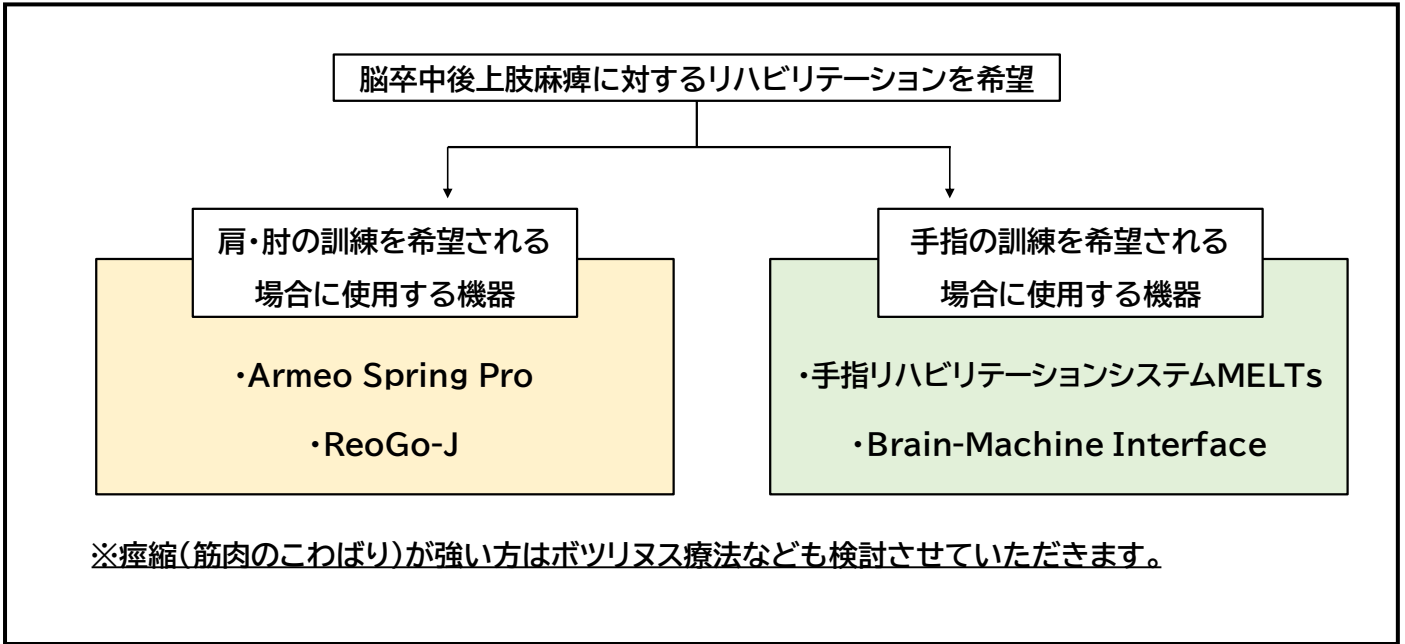
開始までの流れ



*STEP2、3、4は、各日で来院いただく必要があります。

* 初診からリハビリテーション開始までに1ヶ月以上の期間が空く場合がございます。ご了承ください *

＜先進機器を選択するフローチャート＞



外来リハビリテーションスケジュール

- ・1回40分の訓練を週2回(スケジュール上にて○で表示)、6週間(合計10回)実施します。
- ・初日と最終日は評価(スケジュール上にて◎で表示)を60分実施させていただきます。
- ・スケジュールは2パターンあります。

＜パターンA：月曜日と木曜日に訓練を実施します＞

初月

日	月	火	水	木	金	土
	◎			○		
	○			○		
	○			○		

翌月

日	月	火	水	木	金	土
	○			○		
	○			○		
	○			◎		

＜パターンB：火曜日と金曜日に訓練を実施します＞

初月

日	月	火	水	木	金	土
		◎			○	
		○			○	
		○			○	

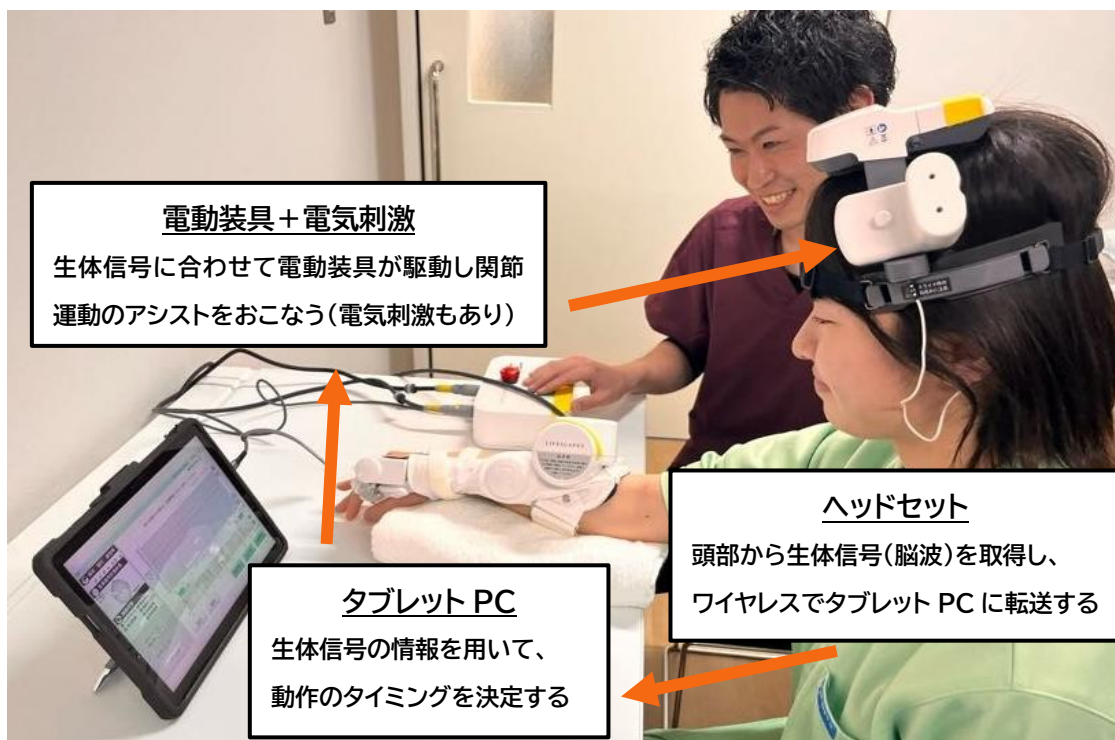
翌月

日	月	火	水	木	金	土
		○			○	
		○			○	
		○			◎	

場合によって、他の曜日に変更するなど是要相談となります

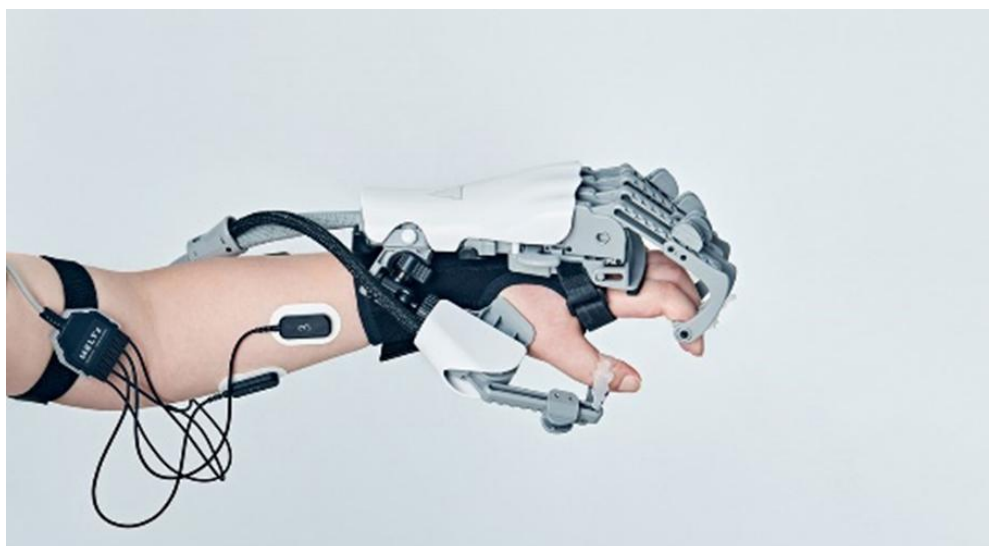
<Brain Machine Interface(BMI)>

頭部に装着したヘッドセットから脳波(手指を伸ばす運動のイメージをしたときに脳波反応が出現)を読み取り、指を伸ばす筋肉への電気刺激と指に装着した電動装具による運動アシストを行います。手指をご自身の意志で伸ばせない方が主な対象となります。脳波を読み取る機器なので、侵襲を伴うものではありません。訓練を反復して行うことで、脳の可塑的な変化を促します。



<手指運動リハビリテーションシステム MELTz®>

麻痺した手の筋電図を読み取った後に、AIにより筋電図を解析しながら、患者様の手の状態に応じて手に装着したロボットが指を曲げたり、伸ばしたりする運動をアシストしてくれます。手の指をご自身で伸ばせない方(手の指を伸ばす筋肉の反応が読み取れる方)が主な対象者となります。



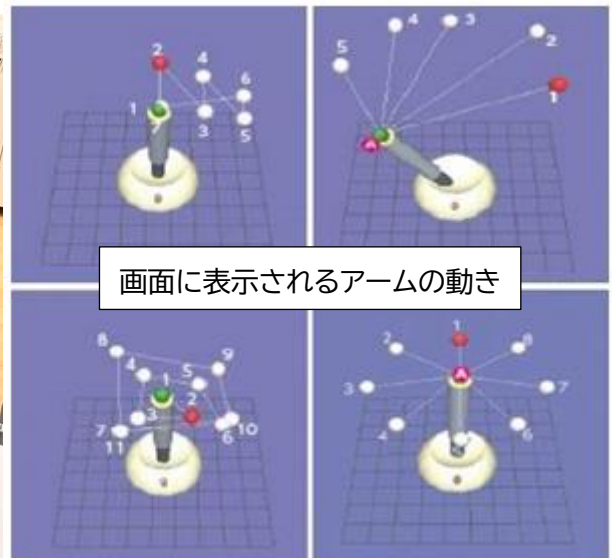
<Armeo® Spring Pro>

腕を支えるロボットを装着し、モニターに表示されるゲームを実施しながら運動を行います。ゲームをこなす中で、腕の運動が可能であり、訓練意欲を高めながらの運動が可能です。日本で初導入の機器です(アジア圏では3台目)。主に肩関節や肘関節、手の平を返す動きを良くしたい方を対象としています。



<ReoGo-J>

麻痺している上肢をアームに載せ、モニターに表示される目標点に向けてアームを軌道に沿って動かすことで、麻痺している上肢の関節可動域の改善や運動麻痺の改善を図るロボットです。



【お問い合わせ先】

名古屋市立大学医学部附属リハビリテーション病院 地域医療連携室 診療予約

TEL:052-680-8999

受付時間/月曜日～金曜日:8時45分～19時30分 土曜日:9時00分～12時30分